

奈良大学大学院研究年報に関する規程

(目的)

第1条 本大学院は、学術研究の推進及び成果の公表を目的として、奈良大学大学院研究年報（以下「研究年報」という。）を発行する。

2 研究年報は、投稿論文及び大学院院生の研究報告等を掲載するものとする。

(発行)

第2条 研究年報は、毎年1回の発行を原則とする。

(投稿資格)

第3条 研究年報に論文を投稿できる者は、次のとおりとする。

(1) 本大学院を担当する教員

(2) 本大学院に在籍する者及び本大学院の課程を修了した者で、大学院担当教員の推薦を受けた者

(3) 編集委員会が特に認めた者

(編集委員会)

第4条 研究年報を編集するため、編集委員会を置く。

2 編集委員会は、次の委員をもって組織する。

(1) 各専攻により選出された各1人の教員

(2) 各専攻により選出された各1人の院生

3 編集委員会には委員長を置く。委員長は、前項第1号委員の互選により定める。

4 委員の任期は、1年とし再任を妨げない。

(掲載の採否)

第5条 投稿された論文の掲載の採否は、編集委員会で決定する。

2 第3条第2号に規定する者の論文については、編集委員会で査読し、その評価を踏まえて、掲載の採否を決定する。

(募集)

第6条 編集委員会は、投稿要領に基づき論文を募集しなければならない。

2 投稿要領は、別に定める。

(事務)

第7条 研究年報の発行にかかる事務は、総合研究所・大学院事務室が行う。

(規定の改廃)

第8条 この規程の改廃は、大学院委員会の議を経なければならない。

附 則

この規程は、平成7年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年7月2日から施行する。

平成27年度（2015年度） 『大学院研究年報』第21号 投稿要領

1. 『奈良大学大学院研究年報』に投稿できるものは、本学の大学院を担当する教員（名誉教授、元本学教員を含む）、大学院在学学生・修士生および研究生とする。なお、大学院在学学生・修士生および研究生は、大学院担当教員の承諾を得るものとする。
2. 投稿は、未発表のオリジナル原稿（一人一篇）に限るものとする。
3. 投稿予定者は、7月15日（水）までに「奈良大学大学院研究年報投稿申込票」に必要事項を記入して、大学院担当教員の承認を得て申し込むこと。また、原稿は、9月16日（水）までに「奈良大学大学院研究年報提出票」に必要事項を記入して、大学院担当教員の承認を得て、原稿と一緒に提出。いずれも締切日厳守。
4. 原稿は完全原稿で、校正は「誤植」の訂正にとどめ、組み替えはできない。
5. 原稿は、和文または外国文とし、**外国文の表題**を付け、さらに、原則として、和文の要旨（約400字以内）と外国文の Summary（約250語以内）を付け、**日本語と外国語のキーワード**をそれぞれ3～5つつけること。
6. 原稿の様式は、次のとおりとする。
 - 1) 原稿は、和文・外国文に限らず、ワープロとし、打ち出しと電子媒体の両方を提出。
 - 2) 図、グラフおよび写真は本文と別紙とし、本文に挿入箇所を明記すること。また、提出の際は、打ち出しと電子媒体の両方を提出すること。なお、**掲載許可が必要な場合は、投稿者が自らの責任において、日本における慣行に配慮しつつ、しかるべき手続きを済ませて提出すること。**
 - 3) 「注」および「参考文献」等は、最後に付けること。
 - 4) 原稿様式の細目は、下記のとおりとする。
 - ※ 提出された原稿において、原稿様式の細目どおりに作成されていないものについては、奈良大学大学院研究年報編集委員会にて統一する。
7. 原稿の作成および枚数については、次の事項に従って作成すること。
 - ※ 提出票の予定枚数については、注、図表、写真、Summaryを含んだ刷上りの枚数を記入すること。
 - 1) 和文の場合
縦書・横書とも、400字詰原稿用紙に換算し60枚以内（注、図表、写真、Summary等含む）。
【原稿作成時のページ設定】
 - ① 横書きの場合・・・43文字、37行、1段組（1ページの文字数 1,591文字）
 - ② 縦書きの場合・・・31文字、22行、2段組（1ページの文字数 1,364文字）
 - 2) 外国文の場合
A4判 26行（65ストローク、ダブル・スペース）30枚以内（注、図表、写真、Summary等含む）。
【原稿作成時のページ設定】
 - 88文字、37行、1段組
 - 3) 上記の字数を超えるものについては、奈良大学大学院研究年報編集委員会において担当教員および執筆者と協議の上で、分割掲載または規定枚数内への書き改めを要請することがある。
8. 抜刷は、100部までを無料でお渡しします。それ以上の抜刷を必要とする場合は、執筆者の負担とする。原稿提出時に、「大学院研究年報提出票」に必要部数を記入して、原稿と一緒に提出すること。
9. 『奈良大学大学院研究年報』は、「奈良大学リポジトリ」として研究論文等をインターネット上で保存・公開するので、写真等の掲載で不都合が生じる場合は、その旨を申し出ること。なお、「奈良大学リポジトリ」とは、本学において作成された教育・研究活動成果並びに出版物等を電子的に収集・蓄積・保存し、学内外に電子的手段により無償で発信・提供することをいう。

別紙「原稿様式の細目」および「記入例」を参照して、原稿を作成すること。

年報用 原稿様式の細目

○ 原稿

1. 原稿は、和文または外国文いずれかで作成し、電子化様式のワープロソフト（word、一太郎等）で作成した電子データと印刷したものを指定日までに提出するものとする。また、投稿された原稿は、掲載の可否にかかわらず原則として返却しない。
2. 図、グラフおよび写真は別紙とし、本文に挿入箇所を明記すること。また、提出の際は、電子データと印刷したものを提出すること。
3. 投稿した論文において引用したデータ、図および写真等の著作権については、「奈良大学リポジトリ」にも公開するので、執筆者において二次利用も含めて著作権の手続を済ませておくこと。万が一、著作権に関し問題が生じた場合は、執筆者の責任において処理すること。
4. 枚数・ページ設定は『奈良大学大学院研究年報』第21号 投稿要領のとおりとし、執筆については次の執筆の手引きと別紙「記入例」を参照して原稿を作成すること。

○ 執筆の手引き

1. 論文は、「表題」、「著者名」、「所属」を記し、「外国文の表題」、「外国文の著者名」を付けること。
2. 原稿は、「要旨」、「Summary」、「本文」、「注」、「参考文献」、「図」、「表」および「写真」の順に揃えて提出。
3. 「要旨」および「Summary」には、キーワードをそれぞれ3～5つ付けること。
【和文要旨の場合】 キーワード : ○○○○、○○○○、○○○○
【Summary の場合】 key words : ○○○○, ○○○○, ○○○○
4. 本文の章わけは、大項目より小項目への順序は次のとおりとする。
【縦書きの場合】 漢数字の 一 二 三 ……
【横書きの場合】 ローマ数字の I II III ……
5. 「注」は論文末に一括して掲載するものとし、通し番号で本文内の指示番号および注の番号も同じ形式で、次のとおりとする。
【縦書きの場合】 1 2 3 4 ……
【横書きの場合】 1) 2) 3) 4) ……
6. 「参考文献」は論文末に一括して、本文中に引用した順に記載するものとし、著者名、論文名、書名、出版地、出版社、出版年（掲載年）、雑誌名、巻号、掲載頁、URL等、資料形態に応じて、書誌情報を記載すること。

〔表記例〕

池田数好 訳 (1973) : 集団精神療法の基礎. 岩崎学術出版社.
増井武士 (1987) : 症状に対する患者の適切な努力—心理療法の常識への
2, 3の問いかけ—. 心理臨床学研究, 14(2), 18-34
Bion, W. (1961): Experiences in groups. London: Tavistock Publications.
Klein, M. (1946): Notes on some schizoid mechanisms. *International Journal of Psychoanalysis*, 27, 99-110.

7. 図、表、写真等は、本文とは別紙とし、本文に挿入箇所を指定すること。また、それぞれに一連の番号を付け、さらに題名（キャプション）を付け、番号および題名は、図・写真の場合は図・写真の下、表の場合は表の上につけること。

〔例〕

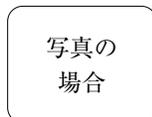
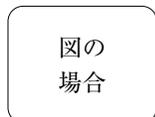


表1 ○○○○

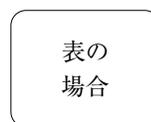


図1 ○○○○

写真1 ○○○○

8. 「謝辞」が必要な場合は、本文と参考文献の間に記載すること。
9. ランニングタイトル（各ページ上のタイトル）は、執筆者名を含めて、和文35字以内、外国文12語以内とする。

以上